LIXIL

施主様用

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書

ジオーナ門扉
ー ST錠 仕様 ー

もくじ

1.安全のために必ず守ってください……1
2.各部の名称……3
2-1 親子仕様……3
2-2 片開き……4
3.使用方法……5
3-1 操作方法……5
3-2 ラッチの掛かり具合の調整方法……5
3-3 落し棒の操作方法……6
3-4 落し棒受けの掃除方法……6
3-5 施錠・解錠方法……7
3-6 オートクローザーについて(オプション)…9
3-7 ご注意とお願い……10
4.お手入れについて……11
4-1 アルミ部分のお手入れ……11
4-2 鋼板部分のお手入れ……11
4-3 ガラス部分のお手入れ……12
4-4 鍵・シリンダー・ラッチの手軽なお手入れ方法・12
5.修理……13

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

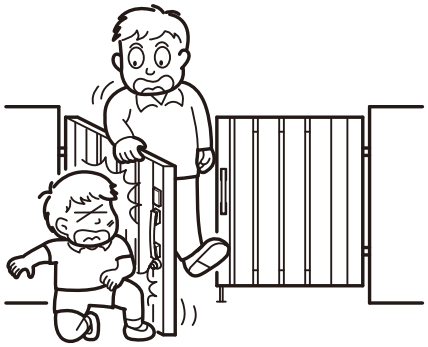
安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

UA213_201510B

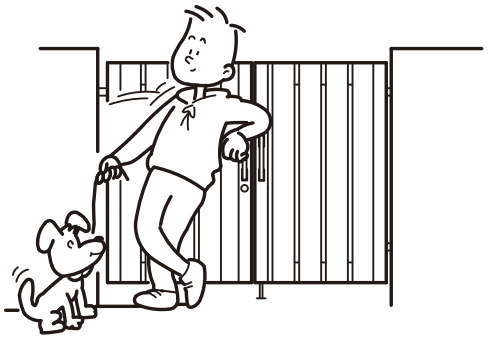
1　安全のために必ず守ってください

⚠注 意



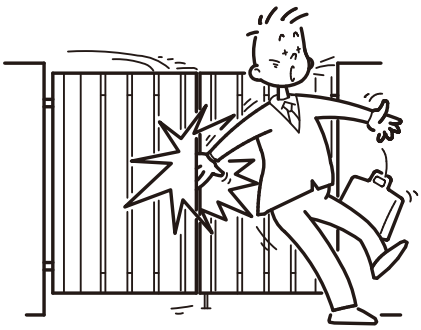
●開閉操作をする前に周囲に人がいないこと、および物がないことを必ず確認してください。扉にはさまれたりぶつかったりして、ケガをする恐れがあります。特に、お子様の飛び出しなどに注意してください。

⚠注 意



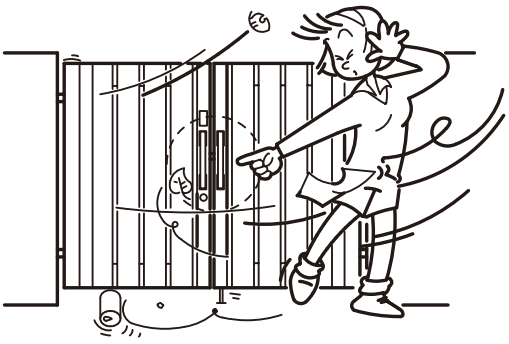
●門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。門扉がはずれてケガをする恐れがあります。

⚠注 意



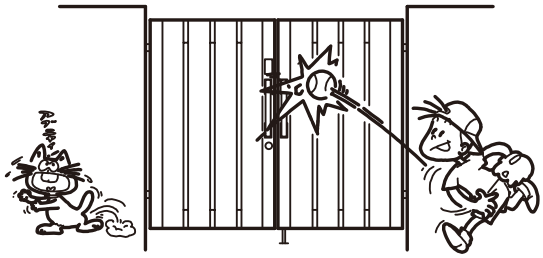
●門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間、錠の把手部分などに手や足をはさまないように注意してください。特に風の強いときは、急に開閉しますので注意してください。

⚠注 意



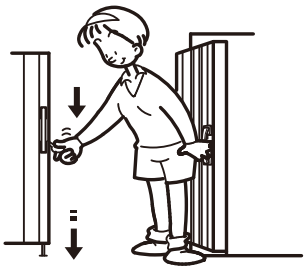
●強風時には必ず施錠し、落し棒をおろしてください。強風で扉が開き、人に当たってケガをする恐れがあります。

⚠注 意



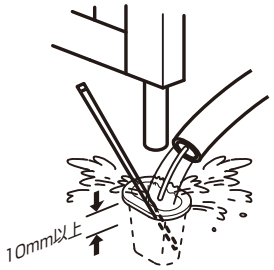
●門扉にボールをぶつけるなど強い衝撃を加えないでください。部材の変形やガラスの破損でケガをする恐れがあります。

⚠注 意



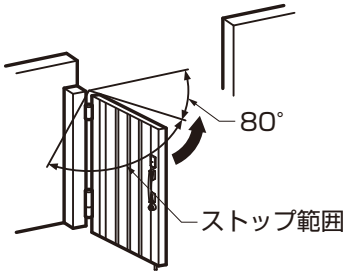
●落し棒の付いている側の門扉は、必ず落し棒を下げて固定してください。強風で扉が動き、人に当たる恐れがあります。

⚠注 意



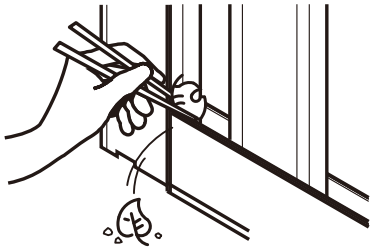
●落し棒付の門扉では、落し棒の掛かりが10mm以下になる前に、落し棒受け内のゴミ・土・砂を取除いてください。落し棒の掛かりが浅いと、強風で扉が動き、扉の破損または人に当たる恐れがあります。

⚠注 意



●オートクローザーをストップ範囲のまま放置しないでください。風などで、門扉が急に閉まる場合があります。

⚠注 意



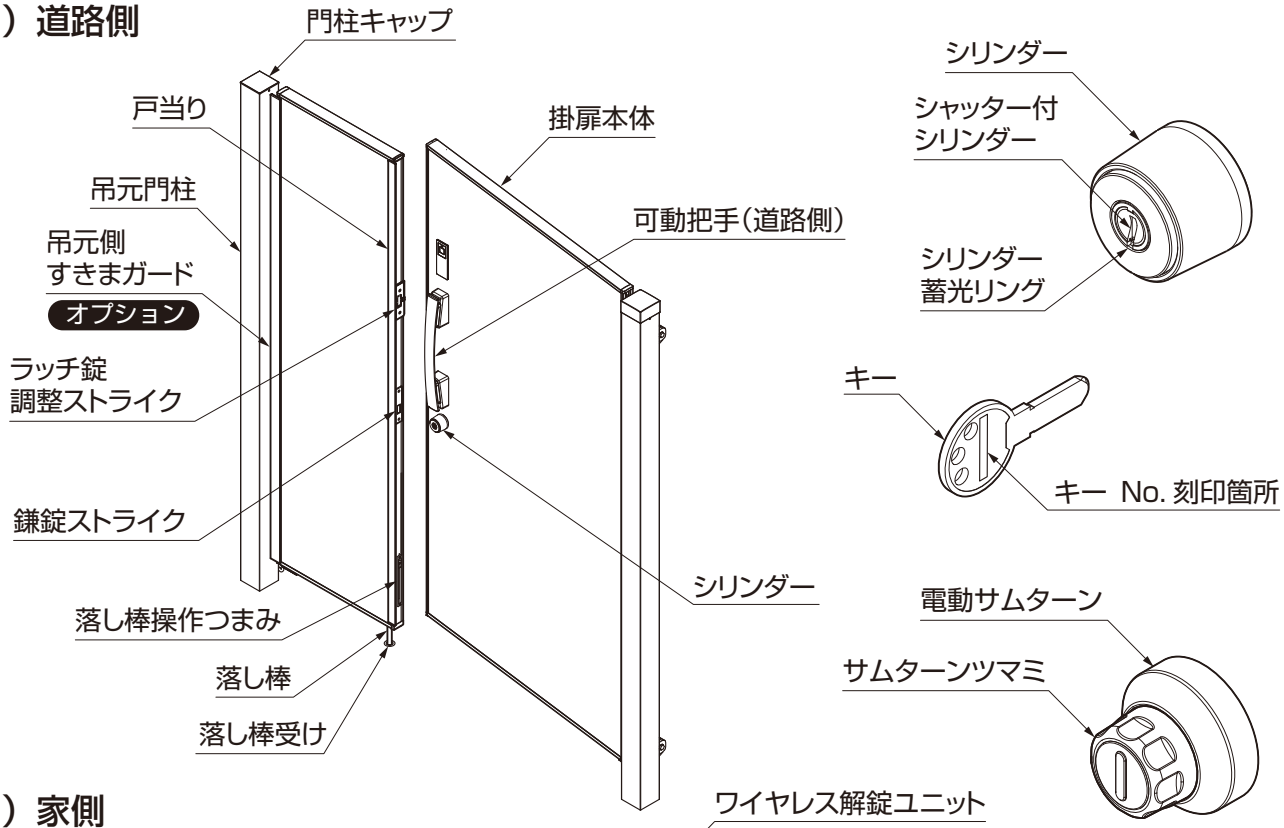
●落ち葉などが溝にたまったときは、ピンセットや割り箸をつかって取除いてください。
手で取除くとケガをする恐れがあります。

2　各部の名称

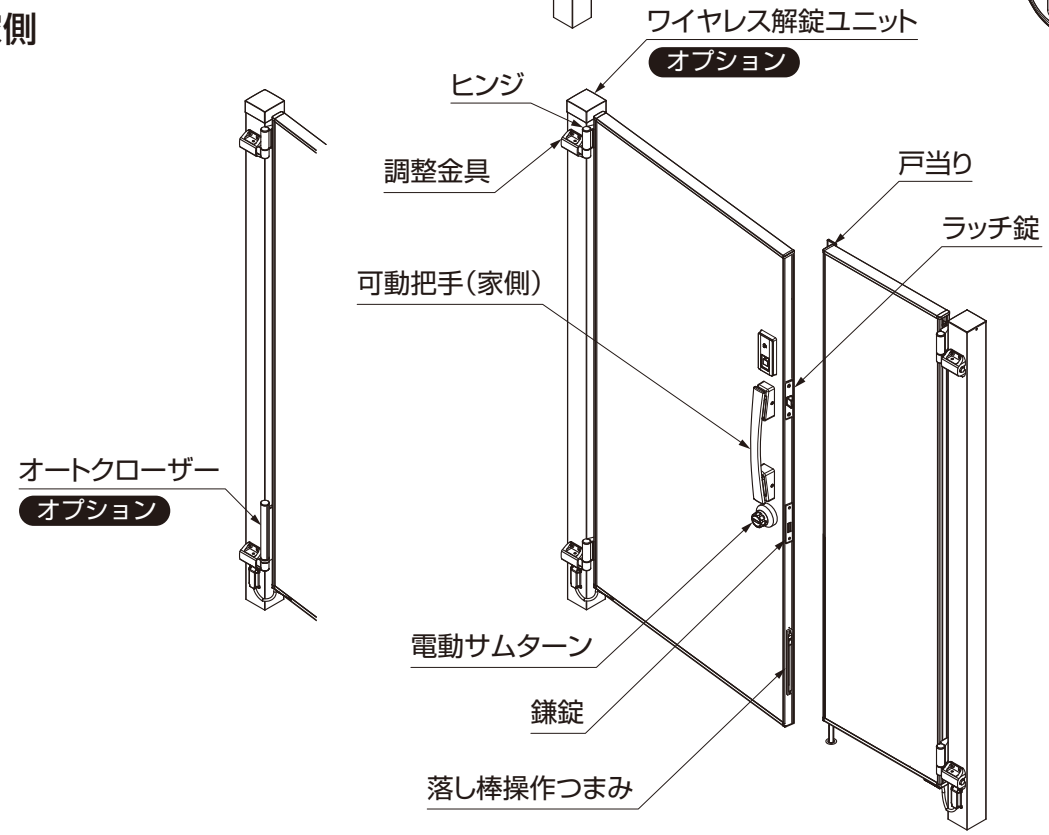
2-1 親子仕様

●図はSA型の右勝手：内開き親子仕様を示しています。
●有線式システムキー、タッチキー /CAZAS+については、門扉用電気錠（有線式システムキー）〈UA222〉または門扉用電気錠（タッチキー /CAZAS+）〈UA208〉の取扱説明書を参照してください。

（1）道路側



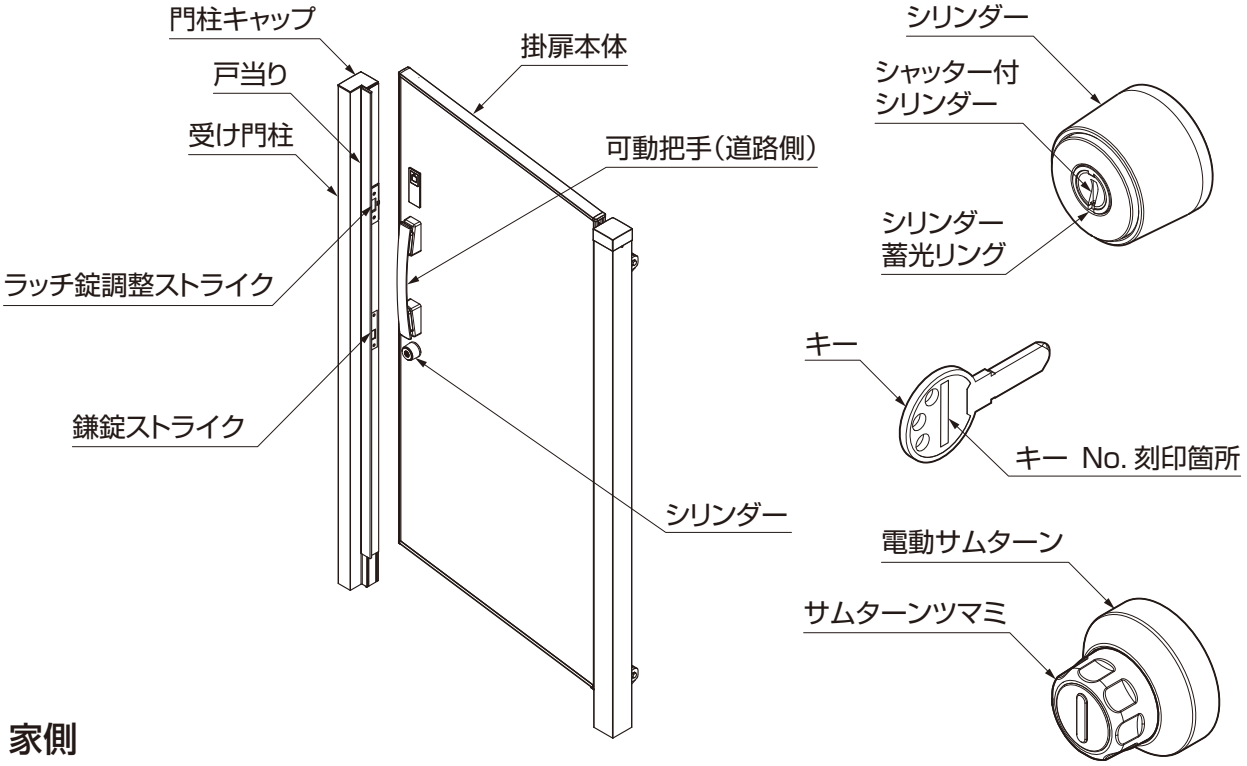
（2）家側



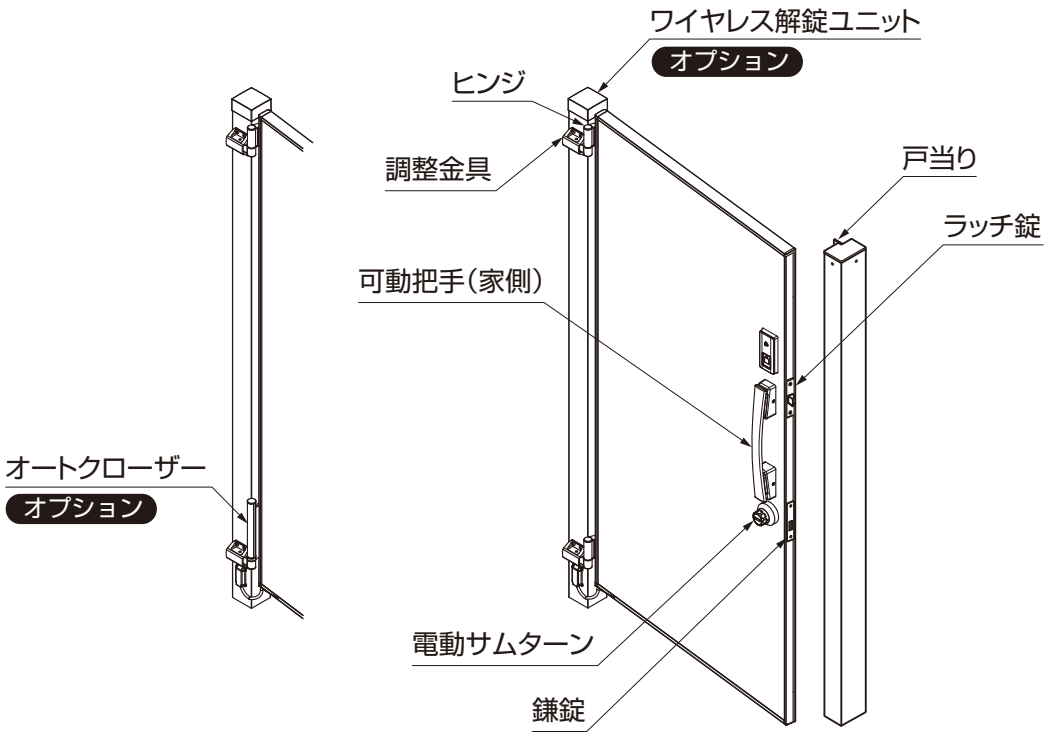
2-2 片開き

●図はSA型の右勝手：内開き親子仕様を示しています。
●有線式システムキー、タッチキー /CAZAS+については、門扉用電気錠〈有線式システムキー〉〈UA222〉または門扉用電気錠〈タッチキー /CAZAS+〉〈UA208〉の取扱説明書を参照してください。

（1）道路側



（2）家側



3　使用方法

3 - 1　操作方法

●図は右勝手の場合を示します。

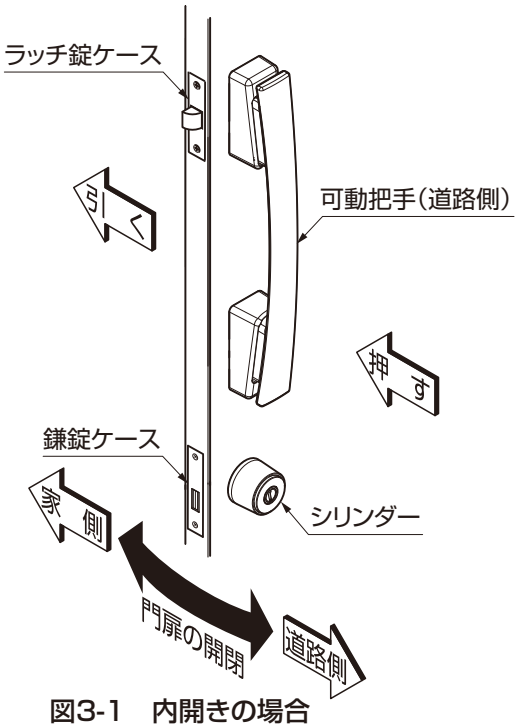


図3-1　内開きの場合

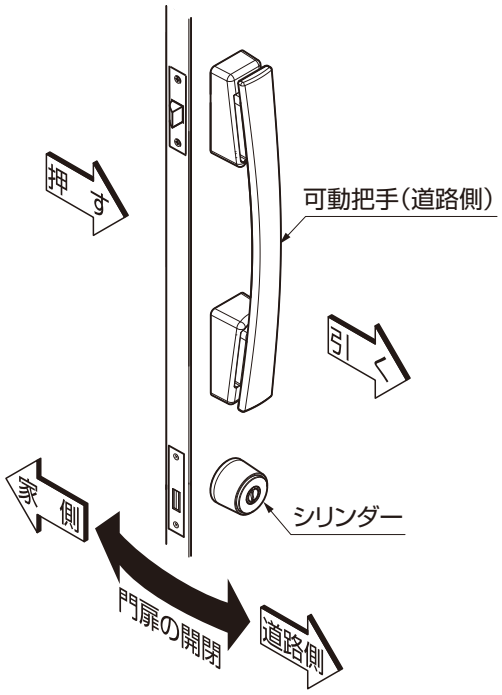


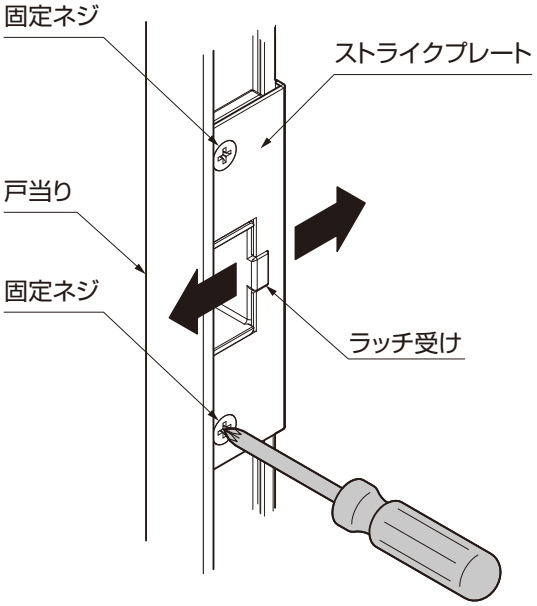
図3-2　外開きの場合

①可動把手部分を押す、または引くとラッチのロックが外れて門扉が開きます。
②可動把手を持って門扉を閉じると、ラッチが掛かり、門扉が閉ります。

補 足

●シリンダー、サムターンで施錠しているとき(「3-5 施錠･解錠方法」参照)は、門扉の開閉はできません。

3 - 2　ラッチの掛かり具合の調整方法

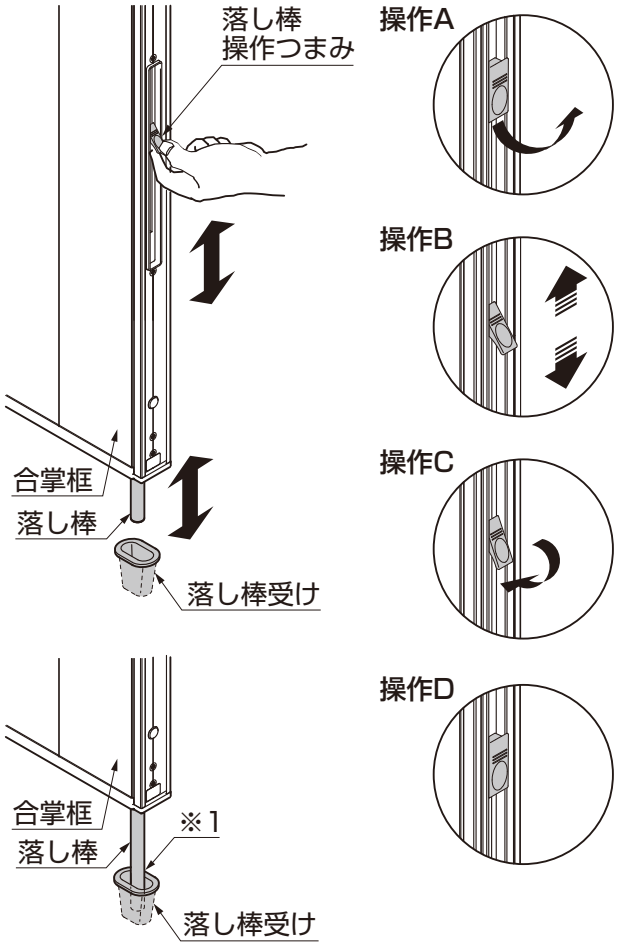


①ストライクの固定ネジを軽くゆるめ、ラッチ受けを左右にスライドして調整してください。

お願い

●調整後は固定ネジをしっかりしめてからお使いください。

3-3 落し棒の操作方法



①落し棒を操作するには、落し棒操作つまみを一旦おこします。（操作A）

②①で起こしたつまみをそのまま上下させて落し棒を操作します。（操作B）

③一旦起こした落し棒操作つまみを元にもどして、固定します。(操作C,D)

⚠ 注 意

●扉を開閉するときは、落し棒操作の際に起こしたつまみを元に戻し、落し棒を固定してからおこなってください。
つまみを起こしたまま扉を開閉すると、落し棒や門扉が破損するおそれがあります。

補 足

●門扉を固定する場合は、落し棒が落し棒受けに入っていることを確認してください。（※１）
●掛側の門扉に、落し棒はありません。

3-4 落し棒受けの掃除方法

補 足

●落し棒受けの中のゴミ・土・砂がたまった場合、落し棒受け内の掃除ができます。

①落し棒受け内のゴミを割り箸などでほぐし、水をかけて中のゴミを洗い流します。

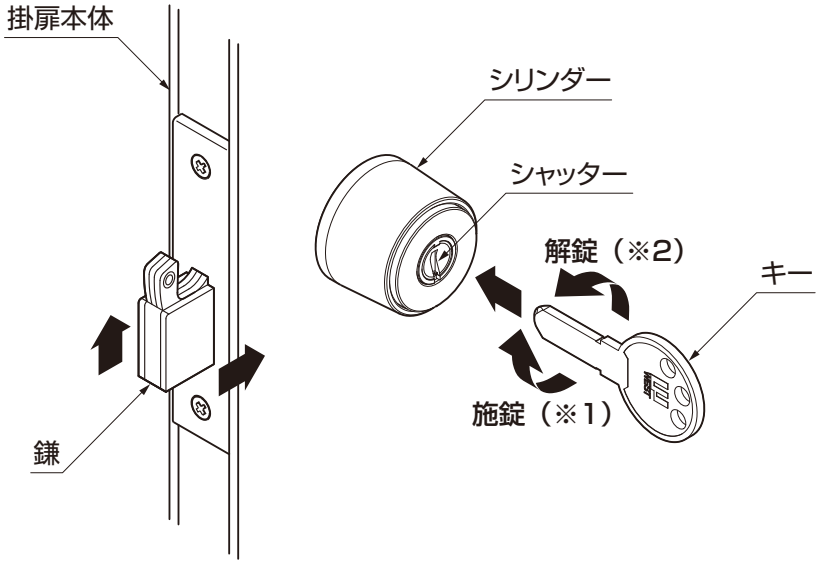
3 - 5 施錠・解錠方法

（1）道路側

※図は右勝手の場合を示します。

表3-1　キー操作

	右勝手	左勝手
施錠（※1）	時計回り	反時計回り
解錠（※2）	反時計回り	時計回り



①キーで施錠・解錠するには、表3-1にしたがって操作します。

②キーの抜き差しは、縦向きの状態で行います。

（2）家側

※図は右勝手の場合を示します。

表3-2　サムターンの操作

	右勝手	左勝手
施錠（※4）	反時計回り	時計回り
解錠（※5）	時計回り	反時計回り

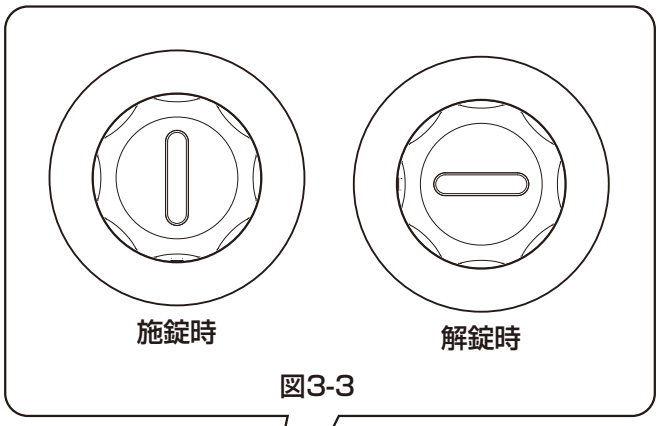
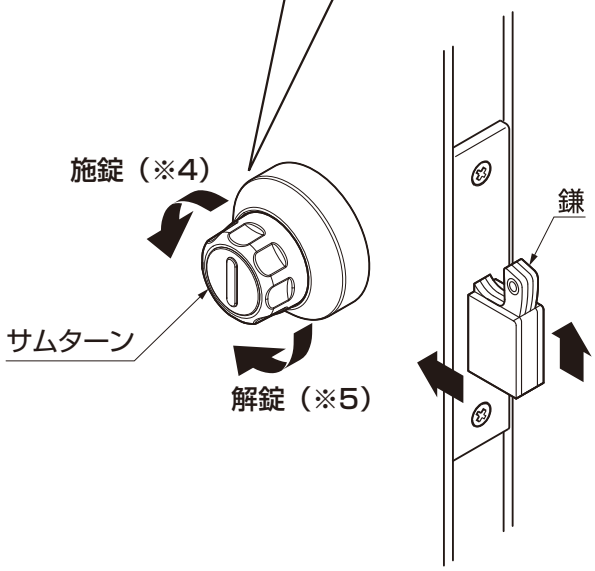


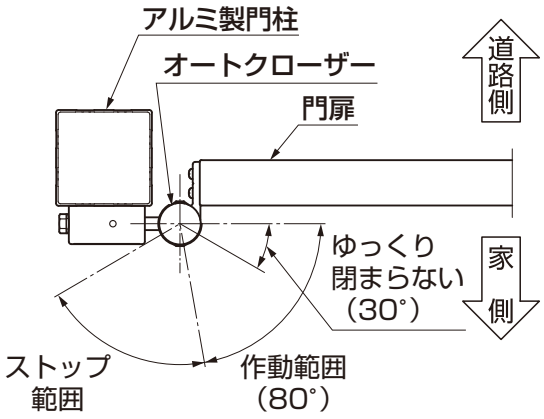
図3-3



①サムターンで施錠・解錠するには表3-2に従って操作します。

3-6 オートクローザーについて（オプション）

（1）内開き



補 足

●オートクローザー付門扉には、作動範囲とストップ範囲があります。

①門扉を開いた後、作動範囲内であれば自動的に閉まります。

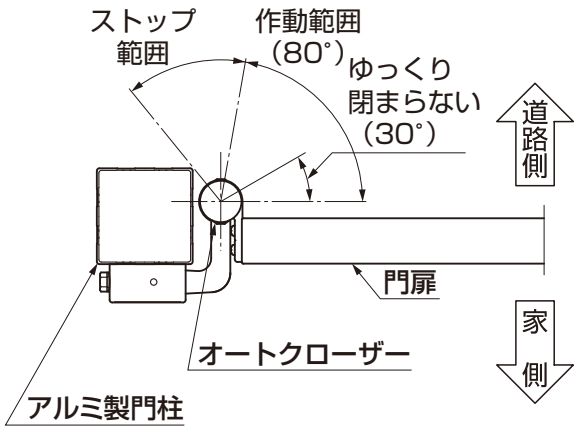
②門扉をストップ範囲まで開くと、簡易的に止めることができます。

③閉じる場合は、作動範囲まで門扉を閉めます。

注 意

●オートクローザーで門扉が作動中のときは、門扉に触れないでください。無理な力を加えると故障の原因になります。
●風などの影響で閉まりきらない場合、手を添えて確実に扉を閉めてください。

（2）外開き



補 足

●オートクローザー付門扉は、クローザーの機構上、開閉角度が少ないとゆっくりと閉まらない部分があります。門扉の開閉は30°以上開けてご使用ください。

補 足

●内開きと外開きでストップ範囲が変わります。
●外開きの場合、柱が変わるとストップ範囲が変わります。
●オートクローザーのスピードの調節が必要な場合は、施工店にご相談ください。

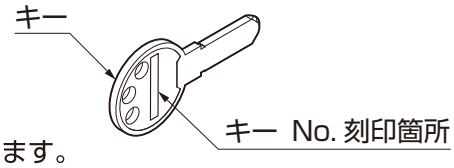
3 - 7　ご注意とお願い

⚠ 注 意

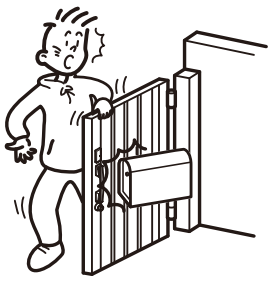
●部品に異常や不具合が生じた場合は、勝手な分解や調整をせずに、お買いあげの販売店（工事店）にご相談ください。異常作動したり破損して危険です。
●ガラスにヒビや割れが発生した場合には、安全のため速やかに交換してください。

お 願 い

●ガラスが破損した場合は、お買あげの販売店（工事店）にご連絡ください。
●シリンダー・蓄光リングなどの錠に関する部品の交換は、お買あげの販売店（工事店）にご相談ください。
●キーはメーカー純正のものをご使用ください。
なお、キーの作製を行うためには、キーNoが必要です。
キーNoは、英数字でキーに刻印していますので、
「5 修理」の欄に控えてください。



●鍵穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。
鍵がスムーズに動かなくなったら、錠前専用潤滑剤を鍵穴に注入してください。
油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
●錠が凍結して動かなくなった場合は無理に動かさず、市販のスプレー式霜取り剤を使用してください。
●錠や門扉の近くに物を吊さないでください。
強風時に扉のガラス面に当たり破損の原因になります。
●ガラスが破損した場合は、安全のために速やかに破片を処理をしてください。
なお、破片の処理には十分に気をつけてください。



●門扉を開閉する範囲に障害物を設置しないでください。
扉や設置した物が破損するおそれがあります。
やむを得ず設置した場合は、物にぶつけないように十分注意して
門扉を開閉してください。
●門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、
表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。

4　お手入れについて

4-1　アルミ部分のお手入れ

●アルミはスチールなどと比べてサビにも強く、維持費のかからない素材です。ただし、表面に付着した汚れを長期間放置しておくと腐食の原因になることがあります。メンテナンスのポイントは、年に数回の水洗いです。それだけでアルミの美しい光沢はいつまでも保てます。
●表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。
●汚れが軽い場合には、水で濡らした布で拭き、そのあと乾拭きをしてください。
●汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用して汚れを拭き取り、そのあと洗剤が残らないようによく水洗いをして、乾拭きをしてください。
●汚れが著しくサビが出ている場合は、中性洗剤を付けたスコッチブライト、または研磨材入りクリーナーで軽くこすり、汚れやサビを取除きます。そのあとよく水洗いをして、乾拭きをしてください。

お願い

●汚れの拭き取りには、布やスポンジなどの柔らかいものを使用し、金属性ブラシや金ベラの使用はさけてください。
●洗剤は必ず、中性洗剤を薄めて使用してください。
●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形・変色することがあります。
●小石・砂などが付着したままでこするとアルミ表面にキズがつきます。あらかじめ取除いてください。

補足

●お手入れは、できるだけ根気よく行なってください。汚れを放置すると表面の劣化に悪い影響を与えることがあります。
●小石が当たるなどして表面についたキズは、放置すると腐食の原因になります。弊社純正のアルミ形材補修用塗料をご利用ください。補修用塗料はタッチペン式です。

4-2　鋼板部分のお手入れ

●鋼板の表面をよりきれいな状態でお使いいただくために1ヶ月に1回程度お手入れをおすすめします。特に海岸近くではお手入れの頻度をさらに多くお手入れをしてください。
●流水をかけながら柔らかい布又はスポンジを用いて汚れを洗い流してください。
●汚れがひどく流水では除去できない場合には中性洗剤を薄めた液で汚れを落し、その後水洗いします。
●最後に柔らかい布又はスポンジで丁寧に水拭き仕上げ、乾拭きしてください。

お願い

●洗浄剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品の有機溶剤は表面材の腐食や表面塗装はがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。
●お手入れの際には柔らかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
●こすって出来たキズは直りませんので、表面にキズをつけないようご注意ください。

4-3 ガラス部分のお手入れ

●中性洗剤又は市販のガラスクリーナーを使用して、柔らかい布又はスポンジで拭き取ってください。

お願い

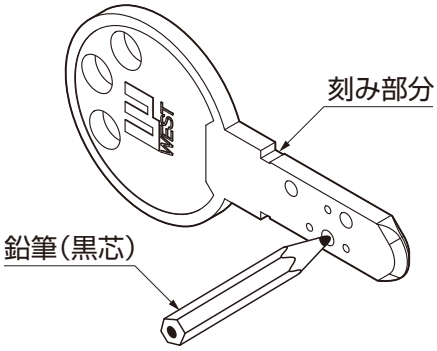
●冷暖房の吹き出し空気や熱を直接ガラスに当てたり、強い照明を当てたりしないでください。
●ガラス面に紙やフィルムを貼ったり、ペンキを塗ったりしないでください。

4-4 鍵・シリンダー・ラッチの手軽なお手入れ方法

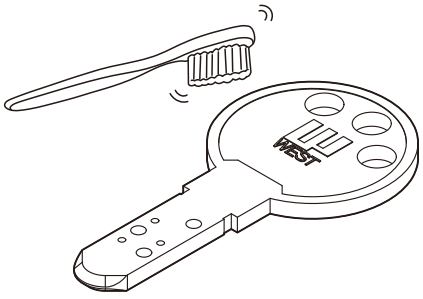
①ディンプルキーの刻み部分を鉛筆でなぞるように黒く塗り、数回鍵穴に抜き差しをしてください。

お願い

●鍵に付着した鉛筆の黒い粉は、布等でふきとってください。付着したまま使用されますと衣服等を汚すおそれがあります。



②鍵が汚れた場合は、歯ブラシ等で軽く掃除してください。



③ラッチの動きが悪かったり引っ掛かる時は、ラッチ部の汚れを拭いてください。動きがスムーズになる場合があります。

5 修理

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電話番号	
施工店名		キーNo.	

●消耗品は寿命があり、有償保証となります。

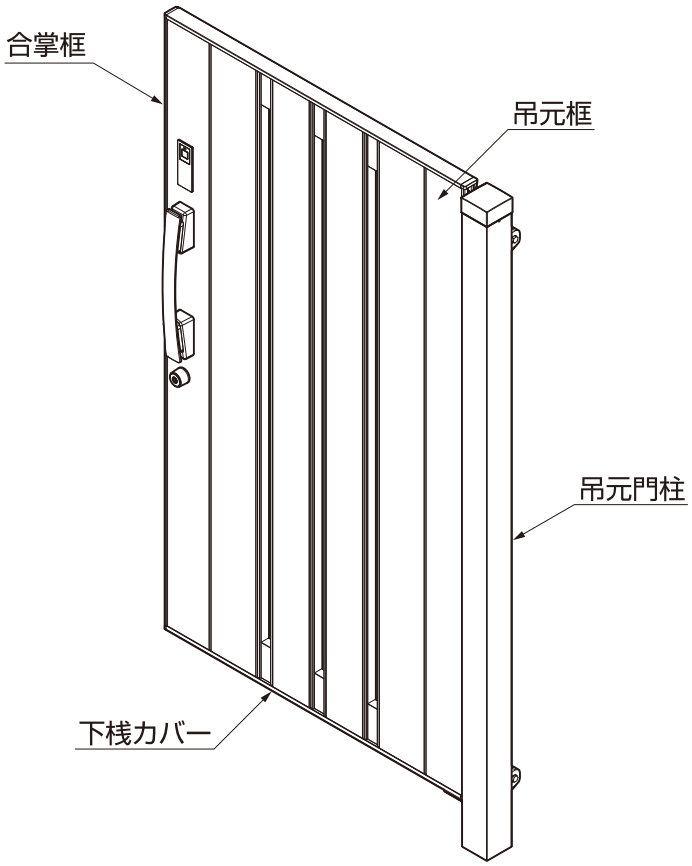
（1）点検および修理料金のしくみ

●修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
・部品代は、修理に使用した部品代です。
・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

（2）交換用部品について

●お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルストア **https://store.lixil.co.jp/**
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター 0120-126-001 にご連絡ください。

※門扉本体の商品名シールは、合掌框の側面に貼ってあります。



メモページ

ジオーナ門扉 ー ST錠 仕様 ー　保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング　ファニチャー&グッズ商品
4. **保証内容**
   取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング　ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
   ※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
6. **品質保証の免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
   ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のささくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。
   ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。
   ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。
   ⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
   ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
   ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is availed only in Japan.）

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. 0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. 0120-413-433

https://www.lixil.co.jp/support/

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

取説コード
UA213

JZZ623689B
201301A_1041
202306C_1047